# 福岡県立小倉商業高等学校

育成を目指す資質能力「明るく　楽しく　元気よく」

## 「新たな学びプロジェクト」ＩＣＴを活用した授業改善の実践

本校が展開する教育活動ＣＰ（カリキュラム・ポリシー）

1　何ができるようになるか、どのように学ぶかが明確な授業

2　予習・復習を前提として日々学習成果を積み重ね、自学力が向上する授業

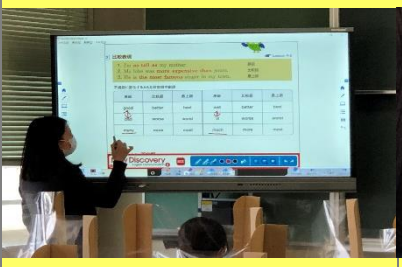
3　「成す事により学ぶ」実学を重視し、体験的活動により達成感のある授業

4　専門科目を伸ばすための基盤である、共通教科の基礎学力を重視

5　主体的・対話的で深い学びを通じて、思考力、判断力、表現力を高める授業

令和２年度より、全ＨＲ教室（１８教室）に電子黒板が設置され、大きく授業が変化！習熟度別で分かれても、移動式電子黒板を使用することで、すべての授業でＩＣＴ機器の活用ができるようになった。

### １年「コミュニケーション英語Ⅰ」

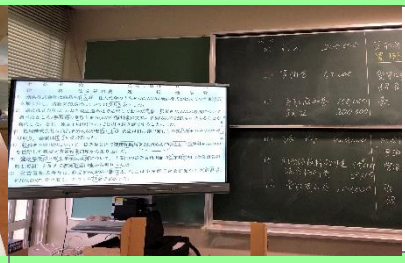


電子黒板を利用することで口頭よりも、授業にメリハリができ、効率よく正確にポイントを生徒に伝えることができるようになった。

電子黒板に示された重要箇所を教師の手本と同様に教科書に書き込むことで、ポイントを明確化することができるようになった。

### １年「簿記」

電子黒板と書画カメラを繋ぐことで、教科書を投影しながら指示でき、取り掛かりまでの時間の短縮ができるようになった。



電子黒板と黒板を目的により使い分けることで、生徒が解答に向けた作業と思考の整理をできるようになった。

### ３年「マーケティング」

生徒各自のスマートフォンを使用して、学習内容の事例等を Web 上で調べることで科目の内容を深めることができるようになった。

Microsoft Teams を活用することで、グループ討議の内容を入力し、クラス全体でリアルタイムでシェアできるようになった。

### ３年「課題研究」

タブレット端末を使うことにより、パソコン教室に移動せずにどこでもグループ学習が可能となり、必要に応じて場所を変えて調査を進めることができるようになった。

タブレット端末を使用することにより、課題や疑問点をすぐに調べることができ、学習効率が向上した。これまで以上に授業への積極的な参加が見られるようになった。

＜成果＞　今年度、電子黒板が全 HR 教室に設置され、機器が充実したことにより、ICT 機器を活用した授業改善が進んだ。これまでのＩＣＴ機器の活用を進めていく上での機器の数というハード面の課題が解決されたことにより、指示や学習の効率化が実現し、生徒に主体的・対話的で深い学びの時間を確保することができるようになった。また、生徒の姿勢にも変化が見られている。授業を重ねるごとに、教師側の積極的なアイデアも増え、スキルも向上している。

フィジカルディスタンスを確保しつつ、生徒も教員も「明るく　楽しく　元気よく」授業やその他の学校行事等、ＩＣＴ機器の活用をすることでこれまで不可能だと考えていたことが可能になりつつある。